

## その四



嶺村法子

区立幼稚園十四園中、十三園が小学校と併設の中央区では、ほとんどの幼稚園が小学校の運動会に参加します。春に運動会を行う小学校もあるのですが、その場合は、入園・進級した姿のお披露目程度の参加になることが多いのですが、秋に行う場合は、かけっこも団体競技も表現も、プログラムにしっかり組み込んで取り組んでいるところが多いようです。

私たちの園では、小学校と合同の秋季大運動会に参加した後、幼稚園だけの運動会「こっこ」わくわくオリンピック」を行っています。小学生の活

躍に刺激を受けて、年長組を中心にいろいろな活動を自分たちで進めていきます。

はじめとおわりの言葉、赤・白団長による選手宣誓や三三七拍子の応援合戦、アナウンス、体操、用具の出し入れ、ゴールテープ、未就園児へのお土産など、小学生への憧れから、「今度は自分たちでやりたい」と意欲が高まります。自分のやりたい係に日替わりで取り組みながら、当日の係を決めるようにしています。

また、表現のプログラムで取り上げたダンスを運動会「こっこ」のはじめの体操にするなど、大運動会の経験を形を変えて生かす工夫もしています。

魔女からのプレゼント（六月号参照）で幕開けした今年度は、「おとぎの国のダンスパーティー」をイメージして、表現のプログラムを組み立ててみようと考えました。

# トミカラひろば

去年の運動会では

カラー帽子に大きな黒い耳をつけ

色とりどりのカラー軍手を手に

ミッキーマウス・パラパラを

踊った子どもたち

年長組になって初めての大きな行事に

「どんなことをしてみたい？」と持ちかける

去年の経験を思い出し

「玉入れやりたい」「リレーやりたい」

と 口々に意見が出る中

「ジンギスカン踊ろうよ」

と 自分たちで振り付けを考え

遊戯室の舞台でダンスショーを

繰り広げていた女の子たち

「うん、ジンギスカンがいい！」

と 他の子どもたちも賛成する

そこで どんな格好で踊りたいか

それぞれ考えてくることにした

「ピーター・パンになりたい！」

「私は、ティンカー・ベルがいいな」

「ぼく、忍者！」「私も忍者！」

「私、魔女になろうかな……。ねえ、一緒に魔女やろうよ」

「お姫様に決めた！」

「私は王子様やりたい！」

子どもたちは 思い思いに

自分のなりたい役を出し合い

二人、三人とかたまりになっていった

さていよいよ 衣装の相談です

「魔女の帽子はどんな形にしようか」

「ホーキもいるよね」

「マントは黒がいいよ」



ト・ミ・カラ ひろば

「お姫様のスカート、水色がいい」

「前のうみ組さんみたいに リボンをくるくる  
回して踊りたいよね」

「王子様の剣を作るんだ！」

「ピーター・パンは 緑の帽子に緑の洋服着て  
るんだよ」

「ティンカー・ベルの羽、何で作ればいいかな  
あ？」

こうして

あちらこちらで衣装作りが始まった

うみ組二十三人中 男の子が八人

その八人中 七人が忍者になった

忍者の衣装はどうするのか

と思っていたら

ともくんが

「忍者の着物作りたい」と言ってきた



▲ジンギスカンを踊るピーターパンとティンカーベル

# ト・ミ・カラ ひろば

新聞紙で型紙を作り 体に当ててみる

「こんな感じていいかな」

「うん。ぼく黄色の着物にする！」

不織布に切り込みを入れ

赤色の布テープで襟の部分を作り

鉢巻きを帯代わりにして腰で結ぶ

とたんに シュシュシュシュシュッと

すり足で走ったり

手を組んで

忍者のポーズを決めたりする

ともくんの姿を見て

他の八人も 自分の好きな色を選んで

忍者の着物を作り始めた

ともくんは

一学期に苦労して覚えた折り紙の手裏剣をこと

もなげに作り終え

もう手のひらに乗せて飛ばしている

翌朝

「忍者になろう！」

と九人で誘い合い

引き出しから着物を出して身につけると

遊戯室の大型積み木で修行の場を作り始めたけ

んちゃんは

三角積み木を長く並べたトゲトゲの道を

落ちないように早足で渡っていく

まみちゃんは巧技台とビームを組み合わせた急

傾斜を手を使わずに登っていく

だいちゃんは

その巧技台の上から

半回転しながら飛び降りたり

後ろ向きに飛び降りたりする

そして私は

ト・ミ・カラ じろば

「忍法跳び箱の術！」

と 幼児用跳び箱の六段を跳んでみせる  
忍者たちは次々に並んで

いろいろな跳び方に挑戦する  
あつくんは

「忍法横跳びの術！」

と叫ぶや 閉脚のまま

手をつけて体をひねって着地する

私は調子に乗って

「忍法竹馬の術！」

と 昔取った杵柄を披露する

子どもたちも負けずに

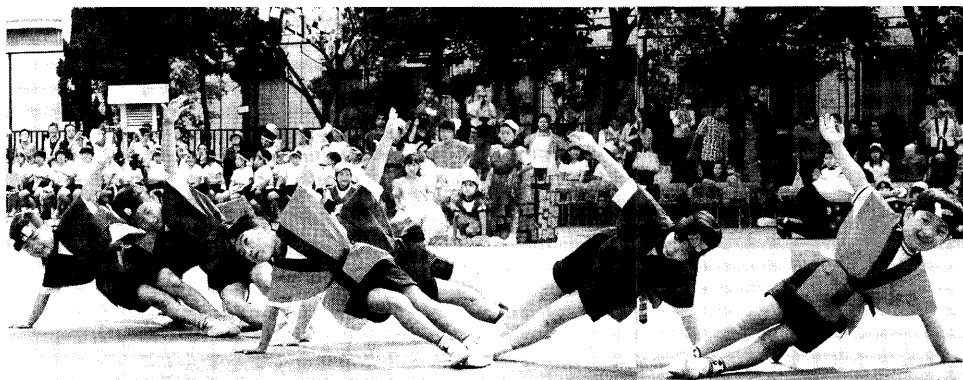
縄跳びをもってきて

「忍法後ろ跳びの術」だの

「忍法バッテン跳びの術」だの

自分たちができるようになった跳び方を

得意顔で見せ合っている



▲忍法並びの術が決まって、にっこり！

# ←←←← TOMIKARA ひろば →→→→

忍者たちは

九人全員が腕立て側臥の姿勢をとる

「忍法並びの術」

真ん中に一人が立ち

四人ずつ手をつないで左右に開く

「忍法花びらの術」

と 新しいポーズを考え

自分たちで名前を付けて

運動会で披露した

ポーズが決まって 拍手喝采！

担任も やれやれひと安心

後はみんなで

ダンス！ ダンス！ ダンス！

のりのりジンギスカンで

“おとぎの国のダンスパーティー”も

無事お開きとなりました。

保育者は、小さな種をまく人である。同じ種を  
まいたつもりでいても、一人ひとり違う色・違う  
形の芽が出てくるところに保育の楽しさがある。

そして、子どもたちと一緒に作り上げていく活  
動の中で、保育者もまた自分らしさを発揮する機  
会を与えられる。その色や形はそれぞれに違って  
いても、子どもたちのはれやかな笑顔を生み出す  
ことが、保育者の自己実現の道であると思う。

(中央区立月島第一幼稚園)